

枕詞「ちはやぶる」をめぐって（資料）

①『古今和歌集』「巻第五 秋歌下」より

二条后にでうのみぎせきの東宮とうぐうの御息所みやすむじころと申しける時

に、御屏風びやうぶに龍田川たつたかはにもみぢ流れたる

形かたをかけりけるを題にてよめる

もみぢ葉の 流れてとまる みなどには 紅ふかき 波や立つらむ 素性

ちはやぶる 神代も聞かず 龍田川 からくれなるに 水くるとは

在原業平朝臣

② 古今集以前の使用例

◆『古事記』中ツ巻より

5 1 知波夜夫流 宇遅能和多理邇 佐袁斗理邇 波夜祢牟比登斯 和賀毛古邇許牟

（ちはやぶる宇治の渡に棹取りに速けむ人し我がもこに来む 大山守命）

5 2 知波夜比登 宇遅能和多理邇 和多理是邇

（ちはやびと宇治の渡に渡り瀬に： 宇邇能和气郎子）

◆『万葉集』巻第二「相聞」より

101 玉葛實不成樹尔波千磐破神會着常云不成樹別尔 大友宿禰

（たまかざら 実なら樹きには ちはやぶる神ぞ憑くといふ ならぬ樹ごとに）

卷三「相聞」より

娘おとめ子報佐伯宿禰赤磨贈歌一首

404 千磐破神之社四無有世伐春日之野辺粟種益乎

（ちはやぶる神の社しなかりせば 春日の野辺に粟播かましを）

卷四「相聞」より

土師宿禰水通從筑紫上京海路作歌

558 千磐破神之社尔我挂師幣者將賜妹尔不相國

(ちはやぶる神の社に我が掛けし幣は賜らむ妹に会はなくに)

卷七「雜歌」より 羈旅にして作る歌

1230 千磐破金之三崎乎過鞆吾者不忘壯鹿之須売神

(ちはやぶる鐘の岬をすぎぬとも吾は忘れじ志賀の皇神)

卷十一「古今相聞往来歌類之上」より 問答歌 寄物陳思歌

2416 千早振神持在命誰為長欲為

(ちはやぶる神の持たせる命をば誰がためにかも長く欲りせむ)

2660 夜並而君乎来座跡千石破神社乎不祈日者無

(夜並べて君を来ませとちはやぶる神の社を祈らぬ日はなし)

2661 靈治波布神毛吾者打棄乞四惠也寿之惜無

(たまじはふ神も吾をば打つてこそし急やいのちの惜しけくもなし)

2662 我妹兒又毛相等千羽八振神社乎不禱日者無

(我が妹兒またも会わむとちはやぶる神の社を禱まぬ日はなし)

2663 千葉破神之伊垣毛可越今者吾名之惜無

(ちはやぶる神の齋垣も越えぬべしいまは吾が名の惜しけくもなし)

◆『古今和歌集』より、その他初句が「ちはやぶる」例

254 ちはやぶる神奈備山のみぢ葉に思ひはかけじうつろふものを よみ人しらず

262 神の社のあたりをまかりける時に齋垣のうちのみぢを見てよめる

ちはやぶる神の齋垣にはふ葛も秋にはあへずうつろひにけり 貫之

348 仁和帝の親王におはしましける時に御おばの八十の賀に銀の杖につくれりけるを見てかの御おばにかはりてよめる

ちはやぶる神や伐りけむ衝くからに千歳の坂も越えぬべらなり 僧正遍昭そうじやつしんせう

487 ちはやぶる賀茂かもの社の木綿ゆふだすき一日も君きみをかけぬはなし よみ人しらず

904 ちはやぶる宇治の橋守はしもりなれ汝をしぞあはれとおもふ年の経へぬれば よみ人しらず

1100 ちはやぶる賀茂の社の姫小松ひめこまつ万代まゆずよふ経とも色はかはらじ 藤原敏行朝臣

1002 古歌奉りし時の目録のその長歌 貫之

ちはやぶる 神の御代みよより くれ竹の 世々にも絶えず あまびこの 音羽おとほの山のはる
がすみ おもひみだれて 五月雨さみだれの 空もどろに さ夜ふけて やまほととぎす鳴く
ごとに 誰も寝覚めて からにしき 龍田のやまのみぢ葉を見てのみしのふ 神無月
しぐれしぐれて冬の夜の 庭もはだれに 降るゆきの なほ消えかへり 年ごとに 千
代にといはふ 世のひとの おもひ駿河の富士ふじの嶺ねの 燃ゆるおもひも 飽かずして
わかるる涙ふぢ衣 織れるころも やちぐさの ことの葉ごとに すべらぎの おほ
せかしこみ 卷まきの 中につくすと 伊勢の海の 浦の潮貝 ひろひあつめ 採れり
とすれど 玉の緒の みじかきころ 思ひあへず なほあら玉の年を経て おほ宮に
のみ ひさかたの 昼よるわかず仕ふとて かへりみもせぬ わが宿の しのぶ草おふ
る板間あらみ 降る春雨の 漏りやしぬらむ

◆『後撰和歌集』巻七 秋歌

唐錦たったの山も今よりは紅葉ながらに常盤なからん 貫之

唐衣立ったの山のみぢ葉ははた物もなき錦なりけり 貫之

③ 古今集以降の例

◆『新古今和歌集』より

1258 人しれずいまやいまやとちはやぶる神さぶるまで春をこそ待て

この歌は待賢門院堀河 大和の方より熊野へまうで侍りけるに春日へまあるべきよしの夢を見たりけれど
のちにまみらむと思ひてまかり過ぎにけるを 帰り侍りけるに託宣し給ひけるとなむ

1886 ちはやぶる香椎の宮のあや杉は神のみそぎにたてるなりけり よみ人しらず